

結

MUSUBI

井上陽介
木村悠生
樋口雄大
西藪 健
林田尚毅

生徒会よりお知らせ

一月三十一日に食堂のレイアウト変更についての全校調査を行いました。十人以上のグループで食堂を利用する人が多いということなので、生徒会で原案を作り、それについての賛否を答えてもらいました。賛成七百三十一票、反対四十六票（有効票数七百七十七票、欠席四十三名）という結果となり、二月から机の配置を変更しました。生徒みんなが決めたことなので、椅子を勝手に動かしたりしないようにしましょう。またマナーにも気をつけて食堂を使用しましょう。

現在、目安箱の投書に対する回答を生徒会ボード（大教室前）に掲示しています。ただし、学校全体で考えなければならないもの、事務室の方にお願ひしなければならぬものについては、まだ回答できていませんので、ご理解ください。

話は変わりますが、新型コロナウイルスの流行が大きな社会問題になっています。他人事とは考えず、手洗い・うがい・マスクの着用を徹底し、予防に努めましょう。

インタビュー 陸上部

陸上部には、短距離・長距離・競歩パート総勢三十人程所属しています。



この部活の特徴は、自主性が強いところです。自分で自由に考えて練習メニューを決めている人もいます。その結果、クラブ活動や日常生活に主体的に取り組む力や、自己管理能力が養われます。

練習は月曜日から土曜日の放課後に大グラウンドで行っています。また、年末には全部員が東大寺学園で開催される練習会に参加し、自分たちの現在の実力を知るだけでなく、今後記録を伸ばすために必要なことを再確認しています。



長距離・競歩は普段、持久力を鍛えるために長い距離を走っています。もちろん、ずっとグラウンドを周回していても楽しくないので、校外、例えば法隆寺方面などに走りに行くこともあります。短距離は概ね大グラ

ウンドで練習し、冬季は短時間でトップスピードに乗るための筋力トレーニングを行います。どのパートも平日は十八時頃、土曜日は十六時頃には練習を終えるので、部活と勉強の両立がとてもしやすいです。

現在の部員の三分の一は他のクラブからの転部者です。競技としての陸上がどのようなものか、全く知らなかった者も努力してみる価値はあります。中一と中二の部員が少ないので、走ることに好きな人は一度練習を見に来てください。入部して、来年の体育祭や矢田山縦走で活躍しましょう！

西藪・林田の科学コーナー 1

中学副会長・西藪と中学書記・林田が、科学部の英知を結集し、「科学コーナー」を連載します。



二月もそろそろ終わろうとしています。今年は暖冬のためあまり使いませんが、冬の必須アイテム「使い捨てカイロ」は、どういう仕組みで温くなるのでしょうか？ 鉄を粉々にして空気と触れる表面積を増やすことで酸化を早め、そこから得た熱を利用しているということは皆さんもご存じだと思います。ではなぜ、同じく鉄を粉々にした、ただの砂鉄は発熱しないのでしょうか？

カイロには粉末の鉄の他に、活性炭、食塩水などが入っています。活性炭は表面の微孔に空気を取り込んで酸素の供給を促します。

また、食塩水の水分は酸素と協力して水酸化物イオンを作り、鉄を攻撃します。また、食塩の塩化物イオンはこの攻撃を手助けします。カイロには早く酸化させるためにたくさんの工夫がされているのです。

では、これからも、日常生活で使う物のあまり知られていない仕組みについて解説していきたいと思っています。

全国大会 結果

囲碁将棋部の高橋宏幸さん(高二)は、第二十八回全国高等学校文化連盟将棋新人大会に出場されましたが、結果は、残念ながら予選敗退ということでした。お疲れ様でした。

イベント

雨の心配もありましたが、二月十四日、無事に矢田山縦走が開催されました。また、二十二日には文化委員会行事「巨大スゴロク」が開催されました。

